

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防団活動事業			会計	款	項目	大手	小事	
				01	09	01	02	03	01
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	吉野 康雄				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民、消防団	意図	消防団員のスキルを向上させ、地域住民が安心して暮らせる街作りを構築する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・火災等災害に対する出動 ・技術向上のための各種訓練 			
事業開始から現在までの状況変化	消防団は地域のボランティアとして活動してきたが、自治体消防制度の発足からその管理を市町村が行うことになり、活動に対する手当を支給することとなった。災害時や訓練等に出動した場合に出動手当を支給しているが、今後も地域住民の安全確保をしていくために継続した事業を推進していく。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	訓練等出動手当	1,923	1,701	1,877	
②	災害等出動手当	200	135	292	人	↑↑↑	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 災害等に出動する消防団員の数は年度によって増減している。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		9,792,719	10,551,169	15,022,825			
事業費(b)(円)		6,203,719	7,057,669	10,186,339			
うち一般財源		6,203,719	7,057,669	10,186,339			
職員給与費(c)(円)		3,589,000	3,493,500	4,836,486			
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.70			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	消防団員の確保を最優先。	③取り組みの課題	訓練を充実させ、市民からの信頼をより高いものとする。
②今年度(H26)に実施した取り組み	流山市出初式 実戦操法大会 不審火事案による警戒パトロール 出動手当の改正	④今後の改善計画	消防団員の装備の拡充。